

Information

令和7年1月より時給を1200円に！只今、パート職員、募集中！

山脈はパート職員の時給を令和7年1月より1200円に改正しました。
詳しい仕事内容、給与、待遇等については法人事務局までお問合せください。

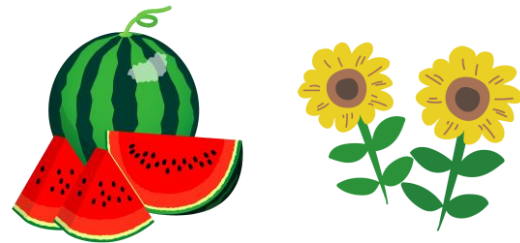
1. みやま工房（就労継続支援B型） 就労支援スタッフ

- 【仕 事】 利用者の就労支援（作業指導、相談支援、支援記録など）
【勤 務】 9時～16時（昼休憩1時間あり）
【休 日】 土曜日・日曜日・祝日

2. キッチンハウスみやま（就労継続支援B型） 就労支援スタッフ

- 【仕 事】 お弁当作り（調理、配膳など）
【勤 務】 8時～15時、6時間程度の勤務
【休 日】 土曜日・日曜日・祝日

※どの職種も勤務成績等により正規職員への登用のチャンスあり



令和7年度賛助会員受付中！

「山脈」の設立趣旨に賛同し、私達の活動を応援してくれる方を募集します。一口 2,000 円で何口でもかまいません。皆様の温かいご理解とご支援を宜しくお願い致します。

賛助会員 年会費 2,000 円(一口)

山脈ニュースをお届けします

賛助会員になられた方には、毎月、当法人の活動の内容をお伝えする「山脈ニュース」をお届けします。

発 行

特定非営利活動法人 山 脈 理事長 笹澤 賢一

住 所：〒370-3604 群馬県北群馬郡吉岡町大字南下 983-2

電 話：0279-54-2947 FAX：0279-54-9171

E-mail：rep@npo-yamanami.jp

URL：http://www.npo-yamanami.jp/

運 営 就労継続支援B型事業所「みやま工房」
就労継続支援B型事業所「麦のゆめ」
就労継続支援B型事業所「キッチンハウスみやま」
グループホーム「ハーモニーやまなみ」1号・2号・3号・5号・6号

(文責：笹澤賢一)

NPO
法人

山脈ニュース

2025.7

No.264

特定非営利活動法人山脈、創立20周年式典に寄せて

特定非営利活動法人山脈は、「障害者の方々が、障害を持ちながらも、ごく当たり前に地域で働き、そして、暮らせる社会の一助になりたい」との想いのもと、平成16年2月10日、法人認可を頂き、設立されました。この間、利用者とそのご家族様、関係者の皆様、地域の皆様、そして、共にご苦労を頂いた山脈の役員・職員の皆様など、多くの方々の温かいご支援とご協力を賜りました。そして、この度、創立20周年記念の式典及び事業を盛会にて開催することができました。改めて、心より感謝申し上げます。

昨今、障害福祉サービスを取巻く環境は大きく変化し、障害者総合支援法の下、市場経済原理や成果主義が導入され、中期・長期の経営展望を見通すことが非常に困難な状況にあります。更に、介護・福祉業界の人手不足や物価高騰等が追い打ちをかけ、今、障害福祉サービス事業は業界全体を通じて非常に厳しい経営を強いられています。

このような状況の中、山脈は障害福祉サービスの事業存続を第一にこれまでの事業の拡大路線を改め、身の丈に合った事業規模へと縮小を図り、堅実な法人経営を役職員が一丸となり取り組んでいます。また、福祉の仕事に希望を抱き山脈に入職した職員が誇りを持って仕事を続けられるよう、職場環境や職員処遇の改善、更には人材教育の体制を整えるべく努力を続けています。

昨年は障害分野において大きな節目の年となりました。昨年7月3日、最高裁にて、長きにわたり障害のある方を苦しめた優生保護法が1948年の立法時点から憲法に違反していたとする歴史的な判決が出され、国会の謝罪決議と不当な不妊手術等を受けた被害者に対する補償金制度が新設されました。優生保護法は、国が「障害者は不良」と決めつけ、障がいのある方への差別や偏見を助長してきました。この判決は、障害者の方々とそのご家族、そして、私達、支援者の大きな希望であり、この日は、世の中から優生思想や障害による差別や偏見を根絶する出発の日になりました。

また、障害者を排除するのではなく、健常者と同等に当たり前の生活ができる社会がノーマルな社会であり、その社会を実現する取組みをノーマライゼーションといいます。そのノーマライゼーションの理念が生まれた北欧など福祉先進国では、もうノーマライゼーションという言葉は使われていないそうです。そして、障害者という言葉も使われなくなってきているそうです。

それは、障がいのある方が生きづらいのは、その方の障害や特性等によるのではなく、そういう方を受け容れられない社会に障害があるという考えによるものです。それはインクルージョンと呼ばれ、障害者、健常者に関わらず、個々の障害や特性を受け容れて共生していくことができる社会の構築を目指す概念のことです。障害者に限らず、難病の方、高齢者、シングルマザー、児童など社会的に弱者と呼ばれる方が安心して暮らせる社会は、障害があろうがなかろうが、全ての人が安心して暮らせる社会であり、それが正に共生社会です。

創立20周年を迎えた山脈は、今後、障害者に限らず、どんな方でも、その尊厳が守られ、その人らしく誇りを持って暮らせる共生社会の実現のため、役職員一丸となり奮闘努力をいたす所存であります。

これからも皆様の温かいご理解、ご協力を賜りますよう宜しくお願い致します。

※特定非営利活動法人山脈20周年記念式典 理事長挨拶より抜粋



令和7年5月24日

特定非営利活動法人山脈
理事長 笹澤 賢一

特定非営利活動法人山脈 20 周年記念事業
音楽朗読劇&コンサート「いつかの涙をひかりにかえて」盛会にて開催！

5 月 2 4 日（土）、午前中の特定非営利活動法人山脈の 20 周年記念式典に引き続き、午後より 20 周年記念事業の音楽朗読劇&コンサート「いつかの涙をひかりにかえて 統合失調症の兄とトイピアノ」が盛会にて開催されました。

当日は雨も心配されましたが、催事中に降られることもなく 300 人を越える方々が来場され、会場となった吉岡町文化センターの大ホールの座席を埋めました。また、事前の新聞やラジオなどでの宣伝もあり、障害福祉関係者だけでなく多くの地域の方々にご来場を頂くことができました。本当にありがとうございました。

今回のステージは二部構成で、第一部は珍しいトイピアノを使ったコンサートです。ピアノ奏者の畑奉子さんと統合失調症のお兄さんとが病気を乗り越え、再び兄妹の交流を取り戻すきっかけとなった“おもちゃのピアノ”がステージに並べられ、それらを曲によって使い分け奏でられる音楽はその音色も伴い幻想的でもありました。

また、畑さんがトイピアノの魅力について、音程が正確でなかったり、出ない音があったり、本物のピアノと比べると不完全であるけれども、そうした欠点とも思われることも个性的であり、そして、トイピアノにはピアノにも引けを取らない魅力、ピアノには出せない魅力を持っている。だからこそ、トイピアノに対して愛おしく感じるとお話をされていたのがとても印象的でした。それは、私達への「障害のあるなしに関わらず、人にはひとりひとりに個性があり魅力があるのだ」というメッセージだったと思います。

第二部は音楽朗読劇で、統合失調症のお兄さんと畑さん、そして、お母さん、お父さんの家族の物語であり、トイピアノを通して 家族が再生していく真実の物語です。畑さんのピアノ伴奏をバックに、朗読をされた青田いずみさんと椎名友樹さんの時には激しく、時には優しく語られるその言葉に最後まで引き込まれました。そして、劇中には、今は地域の支援をうけながら地域で暮らし始めたお兄さんが妹の畑さんに感謝の気持ちを話されている音声も流れ、とても素晴らしい演出でした。

畑さん、青田さん、椎名さん、本当に素晴らしく感動的なステージでした。ありがとうございました。



●ご来場頂いたお客様の声（会場アンケートより抜粋）

- ・人間もトイピアノのように不安定な魅力があると、トイピアノの音色を聴きながら改めて感じました。人間は不安定であるから互いに助け合うことをこれからもコンサートを通じて聞かせてあげて下さい。
- ・トイピアノがこんなにたくさん種類があること、とても良い音が出ることを知ることができた。
- ・実話を音楽を通して聴くことができて良かったです。感動しました。
- ・とても良かったです。感動して涙がでました。是非、私どもの地域でも演奏して欲しいです。
- ・トイピアノは初めて聞きました。そして、一人ではなく地域、社会に甘えても良いのかなと言う気持ちになりました。
- ・一部、二部ともに素晴らしい内容でした。今日はありがとうございました。
人に寄り添ってなんて簡単に言うけどなかなかできるものではありません。それがキッチンハウスみやまにはありました。ちょっとした間でしたがその場に居た者として改めてそう思います。山脈さんに祝福がありますようお祈ります。
- ・トイピアノの演奏とトークも素晴らしく心に残る特別な日になりました。心に残る忘れられない一日で思い出深い演奏会でした。これからはどうぞ頑張ってください。
- ・家族の絆を実感しました。「愛」の受け止めは自由ですが、トイピアノは心が洗われました。
- ・本日は素晴らしいトイピアノの演奏・朗読劇を観賞させて頂き、ありがとうございました。畑さんのご苦労が涙が、ひかりとなっていったこと本当に感動しました。これからの活躍を祈っております。
- ・家族のストーリー、素敵でした。家族会のPR もして下さい。感謝。精神疾患の啓発活動、大変良かったです。
- ・大変な中でも、あの明るい笑顔はどこから来るのか。それはピアノから。ピアノが笑顔を作るから。その両方を思いました。私は笑顔を両方から頂きました。ありがとうございました。
- ・一部、二部ともに素晴らしかった。トイピアノのコンサートは初めてでしたが、素敵な音色に魅了されました。朗読劇や畑さんのトークも感動しました。また機会がありましたら参加したいです。トイピアノ、いろいろな種類があり、とても楽しく聞かせて頂きました。ありがとう！！
- ・お兄様の病名を知り、ピアノにかけた妹さん家族の姿に励まされました。
- ・グランドピアノに負けないトイピアノのそれぞれの個性の音色がとても輝いており、とても感動しました。私自身、生まれつき脚に障害を持っていて、周りの方からデメリット（障害）しか見てもらえないことが多く、違うところが良いという考え方がとても自分の中に響きました。
- ・私の家族も母がうつで自決して家族がバラバラになり、今も連絡がつかない兄と親戚にも見放されてしまい、頼れる人がいない状況なので、とてもストーリーが自分に似ていてとてもグッときました。ありがとうございました。

畑奉枝さんは、統合失調症の兄とトイピアノを通じて交流を取り戻した体験を人権・福祉イベントなどで講演しています。また、音楽朗読劇&コンサート「いつかの涙をひかりにかえて 統合失調症の兄とトイピアノ」も家族会など多くの方からの依頼を受け、全国各地で上演しています。公演の依頼は下記までお問い合わせ下さい。

Sound Office 音旅舎 <http://www.ototabisha.com>

最後に、今回の特定非営利活動法人山脈創立 20 周年記念式典並びに記念事業は、事務局の職員を中心に法人の役職員が一体となり企画・運営されました。山脈にとってとても素晴らしい 1 日になりました。100 点満点の出来だったと思います。山脈が目指す職員ひとりひとりが考え、行動するフラットな組織を体現するイベントとなりました。本当にご苦労様でした

